

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧 1-26-3
園名	キッズサポート多摩第二めぐみクラブ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感を満たす環境づくり ①

<テーマの設定理由>

園がある多摩市は豊かな自然が広がっており、戸外では身近な自然に触れることが出来る。また保育室が広く、様々なコーナーを設置することが出来る。以上の園の特色を生かしながら、子ども達は室内外共に一人ひとりが思い思いに探索活動を行っている。その中で、日々五感を働かせながら環境や玩具に気づいたり関心をもつ姿が見られることから、“五感を満たす環境作り”をテーマとした。
子どもの姿を土台に“色彩”に着目した手作り玩具を室内環境に取り入れてみることからプログラムに取り掛かる。

2. 活動スケジュール

- | | | |
|-----------------|----------|-------|
| ① コーナー設定 | 期間／4月～6月 | 人数／4人 |
| ② ①の設定＋バリエーション | 期間 7月～9月 | 人数／8人 |
| ③ 子どもの姿からの発展あそび | 期間 10月～ | |
| ④ 自然あそび | 期間 | |

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・カラーグラス、センサリーマット、鏡、モビール、壁面(食育写真)、窓ガラス(透明カラーセロファン)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

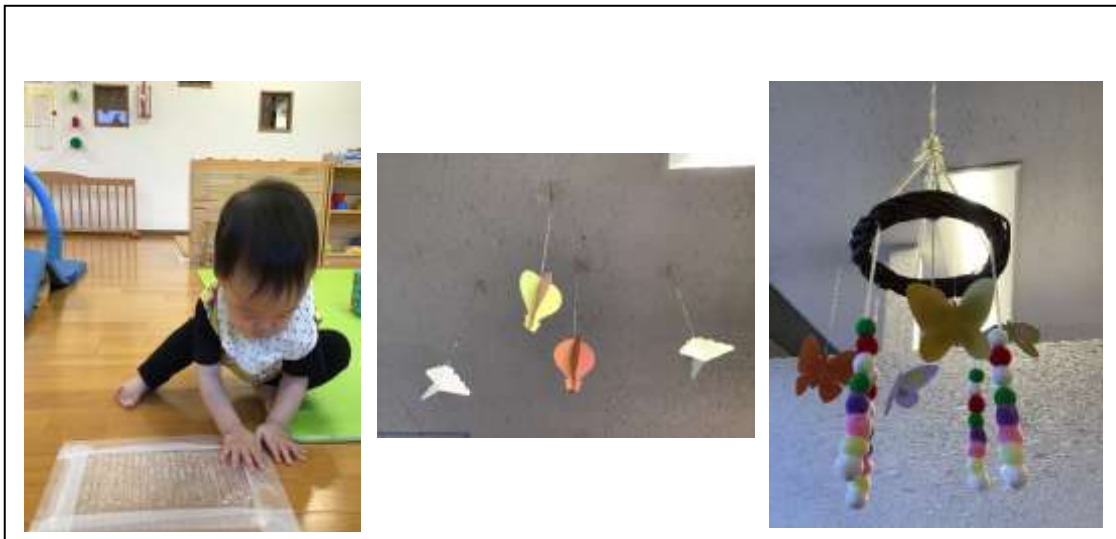
- 一人一人の発達(運動・あそび面)につながるような環境を作る
あおむけの児…天井に吊るす、壁面
ずり這いの児…床に置く・貼る
四つ這いの児…棚の側面に貼る
つかまり立ちの児…棚の上、壁に配置

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- カラーグラス…棚の上に設置したカラーグラスを手に取り覗く、いないいないばああそびをする、床面を転がす、打ち合わせて音を鳴らす。
- センサリーマット…ずり這いの児だけでなく高月齢児も興味を持ち、しゃがんで触れたり、指先でパッキンを潰して音を立てる。
- 鏡…床面に置いた鏡を上から覗き込んだり、保育者が支えた鏡を覗き込む。
- モビール…空調で揺れる様子を眺めたり、保育者の抱っこで触れようとする。
- 壁面…食育活動後に実際に触れた野菜や果物の写真を見ていた。
- 窓ガラス…泣いている児に見せると、泣き止んで手を伸ばす姿が見られた。

5. 振り返り





<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子ども達が園生活や保育室内の環境に慣れたことで、自らあそびを見つけて環境に関わるようになった。
- ・子ども一人ひとりの発達過程だけでなく、それぞれの興味や関心によって物への関わり方や遊び方が変わっていく。
- ・遊びながら触覚・視覚・聴覚に起こる変化を味わっている。